



あけまして おめでとうございます

新年も明けて早いもので8日が経とうとしています。三学期もスムーズにスタートが切れました。

旧年中は、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき本当にありがとうございました。本年も引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、新年最初の朝というのは、空気も普段とは変わり凜と張り詰め、また町全体が新しく変わったように感じられる一種独特の雰囲気のみたされます。

私は、この雰囲気が気に入ってしまし、不思議なもので、さあ今年も一年頑張るぞという気持ちがわいてきます。普段はあまり足を運ばないのですが、今年も例年のように、近くの神社へ朝一番に行きましてお礼とお願いをしてきました。さあ、1年の始まりです。

ところで、去年の暮れから、何気なく見ていたテレビドラマが心に留まり、見続けることとなりました。「プライスレス」といって木村拓哉が主演するドラマで、お金では買えないものに気付いた主人公(木村拓哉)の生き様とそれに感化されていく人々を描いたドラマでした。ところで、お金では買えないものということでは、心温まる話がありますので一つ紹介させていただきます。

ブラッドレーの請求書	
お使い賃	1\$
お掃除賃	2\$
音楽のお稽古に行ったご褒美	1\$
合計	4\$

お母さんの請求書	
親切にしてあげた代	0\$
病気の時の看病代	0\$
服や靴やおもちゃ代	0\$
食事代と部屋代	0\$
合計	0\$

「ブラッドレーの請求書」という話です。

日曜日の朝、ブラッドレーはお母さんに1枚の紙を渡しました。その紙にはこのように書いてありました。(左上)

お母さんは、にっこり笑って何にも言わなかった。お昼御飯の時お母さんはブラッドレーに4\$のお金を渡しました。

ブラッドレーは、そのお金を見て喜びました。そのお金と一緒に一枚の紙がありました。

その紙には、このように書いてありました。(左下)

これを読んだブラッドレーは、目に涙でいっぱいになり、お母さんの所へ・・・という話です。

「ブラッドレーの請求書」も「プライスレス」も愛情・思いやり＝計り知れないもの(プライスレス)がテーマだと思います。子どもたちはこの一年でずいぶん成長しました。しかしそれは子どもたち自身の力だけで成長できたのではなく、周りにいる家族やたくさんの人々の愛情・思いやりがあったことで成長できたんだということを理解してほしい、そしてそれが心に染みいるような子どもに育ててほしいと願っています。

災害にどう備えるか

近年、各地で起こる地震災害や、地球温暖化によると思われる急激な気象変化による災害などが頻繁に起こっています。災害に備えるためには平素からの心掛けが大切です。本校では1月17日には地震を想定した避難訓練を実施し、落ち着いて迅速に避難できるよう指導することにしています。

過日、「釜石の奇跡」として注目を集めた群馬大学の片田教授の講演を聴く機会がありました。先生は防災教育の大切な3つのこと即ち災害は常に想定外であること、避難する時は最大限の努力をして避難すること、率先して避難することが大切だとお話しされていました。機会があれば子どもたちに伝えなければと考えています。

しかしながら、子どもたちの生活の3分の2は地域家庭で過ごす時間です。ご家庭でも、地震発生時等の避難の方法や避難場所について子どもたちと一緒に話し合っただけで済ませたいと考えます。

学校教育診断アンケート

昨年末に実施しました学校教育診断アンケートにご協力いただきありがとうございました。本校の教育課題についての考察に現在取り組んでいるところです。結果の集約ができましたら、学校便り等でお知らせします。

1月24日は学校給食の日です

子どもたちの学校生活の中でも給食は楽しい時間です。皆さんの時代はどうだったでしょうか。私の時代は、アルマイトの食器に脱脂粉乳のミルクとコッペパン、今では珍しいクジラ肉の竜田揚げ等の記憶があり、懐かしい思い出として蘇ります。

ところで1月24日はその学校給食の日です。

今日の学校給食は、子どもが必要とする栄養の3割を摂取することと、栄養のバランスのとれた食事の大切さを理解し、食生活の大切さを身に付け、日常の生活に生かすことができる能力や態度を育てるなど、体と心を育てる食育の一環として重要な役割を果たしています。

本校でも食育についての取り組みを引き続き進めるとともに、安全でおいしい給食の提供に努めたいと考えます。

またご家庭でも子どもたちが持って帰る給食献立表などで給食に関心を持っていただき、「給食おいしかった?」「全部食べれた?」などと子どもたちとの会話のきっかけとしていただければと考えていますのでよろしくお願い申し上げます。

